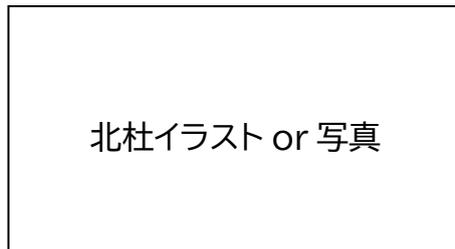


ほくと 子ども読書の杜プラン  
＝第四次北杜市子ども読書活動推進計画＝  
(令和7年度～令和11年度)



北杜市教育委員会

令和7年3月

## はじめに

はじめには、今後原案作成します。

## 目 次

第1章 第四次計画策定の背景 .....	○
1 子どもたちの置かれている環境.....	○
2 第四次計画策定までの経緯	
第2章 第三次計画における取組み・成果及び課題	
1 実施目標	
2 達成状況	
3 数値目標以外の取組み状況	
4 第三次推進計画における成果と課題	
第3章 第四次計画の基本的な考え方	
1 基本的な考え方	
2 国、県の基本的な考え方	
3 社会全体で子ども読書活動を推進するために	
4 計画のめざすもの	
5 計画の期間	
第4章 子どもの読書活動推進のための具体的な方策	
1 家庭における子どもの読書活動の推進	
2 地域における子どもの読書活動の推進	
3 学校等における子ども読書活動の推進	
4 保育園における読書活動の推進	
5 行政による子どもの読書活動の推進	
6 北杜市図書館等における子どもの読書活動の推進	
7 子ども読書活動推進の啓発・普及・方向の推進	
8 子ども読書活動推進体制の確立	
第5章 計画推進に向けて	
1 数値目標	
参考資料	

目次は、本文の構成によって  
ページ・順番は変わります。  
タイトルについては、チェック  
をお願いします。

## 第1章 第四次計画策定の背景

「子どもたちの置かれている環境」は、国、県の内容を参考に作成しました。  
内容の確認をおねがいします。

### 1 子どもたちの置かれている環境

子どもの読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」(子どもの読書活動の推進に関する法律 第2条)であり、子どもが、未来をたくましく切り拓くための道標でもあります。

#### (1) 国・県の動向

国では、平成13年12月に成立した「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、令和5年3月に第五次の基本計画が策定され、翌年、県においても第4次推進実施計画を策定しました。

さらに、障がいの有無にかかわらず全ての子どもが等しく読書ができる環境の実現のため、令和元年6月に読書バリアフリー法が施行され、翌年7月には施策の一層の充実を図るため、読書バリアフリー計画が策定されました。

これに伴い、令和6年3月に県においても「山梨県読書バリアフリー計画」が策定されました。

#### (2) デジタル化の進展

近年の、デジタル技術の急速な進展やスマートフォンなどの情報通信手段の普及や多様化により、子どもを取り巻く環境が大きく変わり、電子媒体による書籍や雑誌、漫画などが普及しております。

また、学校では、GIGAスクール構想のもと1人1台端末により、調査・探究活動や読書活動に加え、デジタル教科書の利用など幅広い活用につながっています。

#### (3) 新型コロナウイルス感染症の影響

令和2年1月から新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」という。)の影響が広がり、図書館の臨時休館や学校の臨時休校があり、読み聞かせやブックトークなどの読書活動も実施することができませんでした。

子どもたちが本に触れる機会の減少は、読書意欲の向上や読書習慣の形成に大きな影響を与える一方、オンラインやリモートワークなどにみられるように、デジタル化への進展及びデジタル技術の活用が加速度的に進むこととなりました。

令和5年5月以降、コロナの感染症法上の位置付けが5類に移行されたことに伴い、読書活動がコロナ禍前の状況に戻りつつありますが、デジタル化を見据

えた新しい局面を迎えているといえます。

#### (4) 本市の読書活動の動き

本市の動き、若干ボリュームを増やしたいのでご意見をください。

本市では、コロナ禍で活動が停滞したことにより、第三次北杜市読書活動推進計画を2年間延長し、令和6年度までとしました。その間も毎年、子どもの読書に関するアンケートを実施し、評価・検証をまいりました。

## 2 第四次計画策定までの経緯

「第四次計画策定までの経緯」は、これまでの内容を改め、現状を追記しました。内容の確認をおねがいします。

北杜市では、合併して北杜市立図書館が誕生して以来、平成16年6月に旧須玉町で策定した「須玉・子ども読書プラン」を基本方針(第一次)として、その後、平成24年度に第二次計画(平成25年度から平成29年度)、平成29年度に第三次計画(平成30年度から令和4年度)、令和4年度に第三次計画改訂版(平成30年度から令和6年度)を策定しました。

これら子どもの読書活動推進計画を基に、子どもが、いつでも、どこでも読書に親しむことができる環境を整えるために、家庭や地域、学校、図書館等が中心となり、子どもの読書活動を推進してきました。

今後も、子どもの読書活動を力強く推進していくため、子どもを取り巻く環境の変化に対応した取り組みや、これまでの着実な取り組みを継続していく必要があります。

つきましては、本年度(令和6年度)で第三次推進計画改訂版の期間が終了することに伴い、これまでの取り組みを振り返り課題を整理するとともに、今後の子どもの読書活動の基本方針を示すべく、第四次推進計画(令和7年度から令和11年度)を策定することとしました。

第四次北杜市子ども読書活動推進計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項の規定に基づく計画であり、国の第五次子ども読書活動推進基本計画及び山梨県子ども読書活動推進実施計画(第4次)を指針とし、北杜市における子どもの読書活動の推進の状況を踏まえ策定するものであります。

また、第3次北杜市総合計画の部門別計画において位置付けられております。

表 国、県、市の計画策定状況

項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
・第4次国基本計画								
・第5次国基本計画								
・県第3次推進計画 (改訂版)								
・県第4次推進計画								
・市第三次推進計画 (改訂版)								
・市第四次推進計画								

## 第2章 第三次計画における取組み・成果及び課題

「実施目標」は、これまでの内容を修正し、第3次の状況を追記しました。内容の確認をおねがいします。

### (1)実施目標

平成29年度に策定した「第三次北杜市子ども読書活動推進計画」では、子どもが幼いときからいつでも身近な場所で本に触れ、読書や図書館に親しむことができる環境を整えることが出来るよう次の4つの実施目標を設定し、家庭や地域、学校、図書館等が、それぞれに、あるいはお互いに連携する中で、取組みを行ってきました。

第三次推進計画(改訂版)の取組みについては、平成30年度～令和6年度まで毎年年度末に児童館、放課後児童クラブ、つどいの広場、子育て支援センター、学校、保育園、図書館を対象に進捗状況のアンケートを行い、それを基にしたPDCAによる検証を行ってきました。その検証をもとに、成果と課題についてまとめました。

<第三次推進計画 実施目標>

1. 子どもの自主的な読書活動の推進
2. 家庭・地域・図書館・学校等の連携
3. 子どもが読書に親しむ環境の整備・充実
4. 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

### (2)達成状況

第三次推進計画では、以下①～⑥の6つの数値目標を設定しました。

#### ① ブックスタートで配布した本の読書率(実施目標…3)

平成29年度	目標数値 (令和6年度)	令和5年度結果	H29とR5の比較
98%	100%	98.2%	0.2ポイント増

北杜市図書館では、1歳のお子さんに絵本をプレゼントするブックスタート事業を平成17年度から継続して実施しています。この事業はニューボラ推進課との連携のもと、親子が絵本を介してコミュニケーションを深めるとともに、保護者も本に触れる機会が持てるようにという思いのもと行っており、令和5年度末に実施したアンケートでは、

ブックスタートで絵本をもらった保護者のうち、98.2%がその絵本を家庭で読んだと回答しています。令和5年度は 0.2 ポイントの微増に留まっており、目標値の 100%には達していないものの、高い数字を維持しています。

また「選んだ本は満足しましたか」という問いに対しては、97%の保護者が「満足した」と回答しており、満足度はとても高くなっています。

## ② 本の杜への招待状事業における絵本引換率

事業仕分けにより令和3年度より中止

## ③ ブックスタート・読み聞かせ・朗読ボランティアの登録数及び活動状況 (実施目標…2, 3)

	平成29年度	目標数値 (令和6年度)	令和5年度結果	H29 と R5 の比較
登録数(延)	174人	180人	167人	10人減
稼働率	83.3%	85%	85%	1.7ポイント増

令和5年度末のボランティアの登録数は、延べ167人となっており平成29年度と比べて10人の減となっていますが、これはコロナの影響により、ブックスタートボランティアとして登録していた人が活動出来なくなったための減となっています。稼働率を見ると、目標の85%に達しており、子どもの読書活動を支えるために、多くのボランティアのみなさんに活動していただいていることが伺えます。

## ④ 週3回以上家庭の中でお子さんに本を読んだり、一緒に本を読む回数の割合 (実施目標…2, 3, 4)

平成29年度	目標数値 (令和6年度)	令和5年度結果	H29 と R5 の比較
51%	55%	53.9%	2.9ポイント増

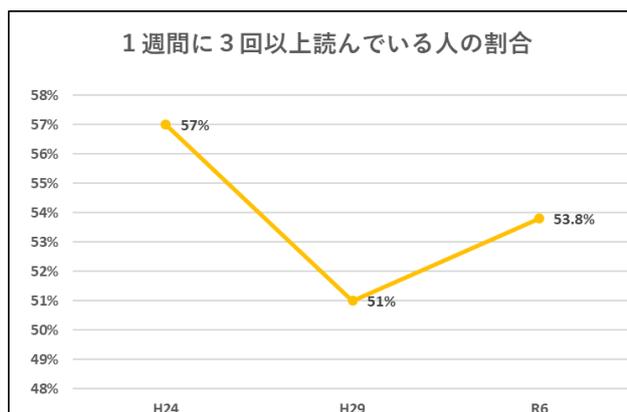
令和5年度末に保育園の保護者を対象に実施したアンケートでは、「家庭の中でお子さんと一緒に本を読むことがありますか」という問いに対して、「毎日読む」「1週間に3回程度読む」と回答した人が合わせて53.9%で、平成29年の51%を上回っています。また、「ほとんど読まない」が平成29年度が18%だったのに対して、令和5年度は6.5%と減少しています。この結果から、家で子どもと一緒に読書を楽しむ家

庭が増えていることが伺えます。

また、「お子さんは本を読んでもらうことが好きですか」という問いに対しては、81%が「好き」と回答しており、「ブックスタート後、お子さんに絵本を読んでもらう機会が増えましたか」という問いに対しては、80%が「増えた」「ブックスタート以前から読んでいた」と回答しています。これは平成 29 年度の 67%を大幅に上回っています。このことから、本を読んでもらうことが好きな子どもが多く、また多くの保護者が日常的に読み聞かせを行っていることが伺えます。同アンケートの中の「お子さんに本を好きになってほしいと思いますか」の問いには、94%の保護者が「はい」と回答していること、また「どうすれば、お子さんが本を好きになると思いますか」の問いには、77.2%の保護者が「大人が読んであげる」と回答していることから、読み聞かせの大切さに対する保護者の意識は高くなっていることが表れた数値となっており、成果が上がっていると考えられます。

今後も引き続き、家庭における読み聞かせ等を含め、家族みんなで一緒に読書を楽しむ機会を増すような取り組みの推進が求められます。

Q:あなたは先週一週間に、どれくらい本を読みましたか。



### ⑤ 本を読むことが好きな児童・生徒の割合(実施目標…1)

	平成29年度	目標数値 (令和6年度)	令和5年度結果	H29 と R5 の比較
小学校	86.6%	90%	75.2%	11.4ポイント減
中学校	74.4%	80%	58%	22ポイント減

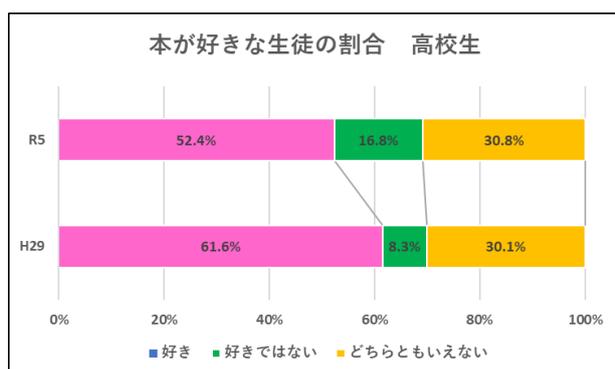
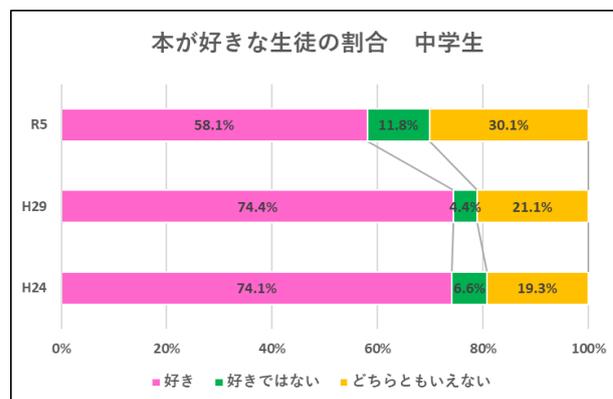
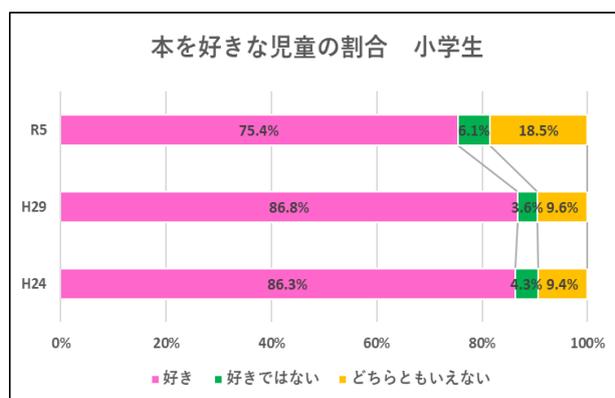
令和5年度末に実施したアンケートでは、本を読むことが好きな児童・生徒の割合が、小学校では 75.2%、中学校では、58%となっており、平成 29 年度と比べそれぞれ 11.4 ポイント、22 ポイントと大幅な減となっています。小学校を細かく見ていくと、本を読むことが好きな児童の割合は、低学年で 82.3%、小学校高学年では 68.8%とな

っており、学年が進むにつれ「好き」と答える児童の割合が減少しています。

一方「好きではない」と回答した児童・生徒の割合は、小学校低学年で 5.5%、小学校高学年では 6.5%、中学校では 11.9%となっています。**好きな割合が減っている背景を書き加える**

同アンケートの中で「好きか嫌いかわからない」と回答した児童・生徒の割合は、小学校低学年で 12.9%、小学校高学年では 24.5%、中学校で 30.2%となっていることから、好きではない児童・生徒はもとより、「どちらとも言えない」と回答している児童・生徒をいかに「好き」な方向に導いていくかが課題となり、保護者や子どもを取り巻く大人が、読書に目を向け読書の楽しさを実体験でき、生活の一部として定着していけるような取り組みが必要です。

**Q:あなたは本を読むことが好きですか。**



⑥ 月1回以上市立図書館を利用する児童・生徒の割合(実施目標…1, 2, 3, 4)

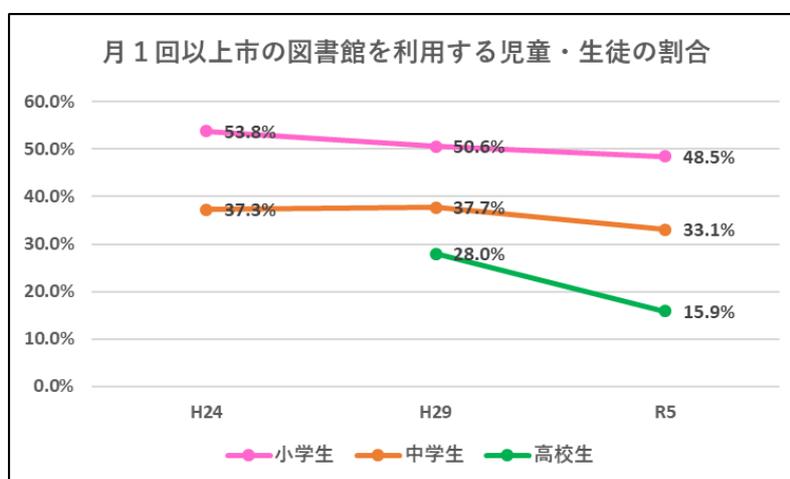
	平成29年度	目標数値 (令和6年度)	令和5年度結果	H29 と R5 の比較
小学校	50.5%	53%	48.5%	2.3ポイント減
中学校	37.7%	40%	33.1%	4.6ポイント減
高等学校	28%	30%	15.9%	12.1ポイント減

令和5年度末に小・中・高校生を対象に実施したアンケートでは、「あなたは市の図書館にどれくらい行きますか」という問いに対して、「月に1回以上行く」と回答した児童・生徒が、小学校で**48.5%**、中学校で**33.1%**、高校で**15.9%**となっています。**平成29年に比べ、それぞれ2.3ポイント、4.6ポイント、12.1ポイントの減となっており、どの世代も減少しています。**「行かない」理由としては、小学校低学年では「一人ではいけないから」が最も多く、次いで「忙しいから」となっています。小学校高学年では「忙しいから」が最も多く、次いで「一人では行けないから」となっています。以下、中学生・高校生では「忙しいから」が最も多く、次いで中学生は「他に好きなことがあるから」、高校生は「面倒くさいから」となっています。

小学生では、本人の忙しさもさることながら、親の忙しさも影響し「行きたくても行けない」状況もあるのではないかと推測されます。また、中・高校生は、部活や習い事などで忙しい日々を送っていることや読書以外に興味があり、そちらに時間を費やしていることが伺えます。

今後は、**電子図書館の導入や学校図書館の充実を図る等**、小中高校生のニーズに合わせた図書館のあり方を考えていく必要があります。

Q:あなたは市の図書館にどれくらい行きますか。



### (3)数値目標以外の取組み状況

#### ① 家庭における北杜市図書館の利用

平成29年度末に保育園の保護者を対象に実施したアンケートでは、「お子さんと一緒に北杜市図書館に行きますか」という問いに対して、「よく行く(1週間に3回程度)」「ときどき行く(2週間に1回程度)」と回答した人の割合が20%となっていました。令和5年度に実施したアンケートでは19.5%と微減しているもののほぼ横ばいという結果が出ています。また、「北杜市内で開催されているおはなし会やイベントに参加したことがありますか」という問いに対しては、「ある」と回答した人が平成29年度は39%、令和5年度は37%、で以前に比べるとこちらも微減しています。図書館に「行かない」理由としては、「仕事が忙しいから」が51%と一番多く、次いで「家事が忙しいから」「図書館に興味がないから」「子どもが本を破いたり汚す、騒ぐなど図書館に迷惑をかけたくないから」という理由が多くなっています。また、おはなし会やイベントに参加したことが「ない」理由としては、「開催されていることは知っていたが開催日時が合わないから」が45.5%と一番多く、次いで「家事が忙しいから」「子どもが騒いだり、じっとしてられず、迷惑をかけてしまうから」となっています。

子どもがおはなし会に参加したり、図書館を利用するためには、保護者の手助けが必要となります。土曜日の午後におはなし会を実施している図書館の最近の参加状況を見ると、父親が子どもを連れて参加している姿が多く見られます。父親の育児参加が増えていることを踏まえ、おはなし会の実施時間や実施曜日などを見直し、参加しやすい体制を整えることが必要だと考えられます。また、保護者が「行ってみたい」「参加してみたい」と興味を持てるような図書館の充実をはかる必要があります。

#### ② 児童館・放課後児童クラブ・子育て支援センター・つどいの広場におけるおはなし会の実施

市内には、児童館が4施設、放課後児童クラブが14施設、子育て支援センターが3施設、つどいの広場が4施設あります。それぞれ実施回数に違いはありますが、令和5年度の実施状況を見ると、児童館で4施設中3施設、放課後児童クラブで14施設中6施設、子育て支援センターで3施設中全て、つどいの広場でも4施設中全て実施されています。放課後児童クラブでの実施が4割程度にとどまっております。高学年クラスで実施されていない状況があります。

今後は、おはなし会という形式に捉われず、少人数単位での読み聞かせをいつで

もどこでも誰にでも行える体制を整え、読書に親しめる環境を作っていくことも必要です。

### ③ 児童館・放課後児童クラブ・子育て支援センター・つどいの広場における団体貸出しの実施

コロナを境に団体貸出しの利用が増え、令和5年度は25施設中21施設が団体貸出しを利用しています。平成29年度の17施設の利用からは着実に増加していますが、子どもがより多くの本に触れる機会を得るために、現在利用のない施設を中心に更なるPRや本の置き場所を確保などの環境整備を促すことが課題です。

### ④ 児童館・放課後児童クラブ・子育て支援センター・つどいの広場における北杜市図書館との共催によるイベントの実施

各施設からの依頼を受けて図書館職員が出向き、読み聞かせ等を行って来ていますが、共催でのイベントの開催は実施に至っていない状況です。5年間の状況を見る中で、方策の見直しが必要です。今後は、各施設のイベントの中に読み聞かせやパネルシアター等、本と触れ合う時間を確保してもらい、図書館職員が協力するという形が望まれます。

## ⑤ 行政による活動の推進

図書館とネウボラ推進課の連携のもと、月1回1歳児健診の子どもを対象にブックスタート事業を行っています。また、市の子育て情報サイト「やまねっと」に図書館のおはなし会の様子を掲載していただいたことで、部局を超えた情報発信により、おはなし会への参加を促すことが出来ました。

今後も引き続き行政同志のつながりを密にし、連携を図りながら子どもと本つなぐ事業やイベントを行っていくことが望まれます。

## ⑥ 学校における朝読書の推進、読書の時間の確保

<朝の読書の実施状況>

年度	H30	R1			R5
	北杜市	北杜市	県	全国	北杜市
小学校	11/11	9/9	163/165		9/9
	100%	100%	99.4%	90.5%	100%
中学校	9/9	9/9	79/80		9/9

	100%	100%	98.8%	85.9%	100%
高 校	2/3	2/3	17/31		2/3
	66.6%	66.6%	54.8%	39.0%	66.6%

小中学校での実施率は100%となっています。その中で中学校の実施回数を見ると、平成30年度には9校中6校が「毎日実施している」と回答していましたが、令和5年度は9校中1校に減少しており、「週に1～3回実施している」と回答した中学校が8校に増えました。

読書を子どもたちの生活の一部として定着させるためにも文部科学省が推進する朝読書を継続して推進していくことが望めます。また、毎日実施していた学校が週1～3回に変わった理由として、その時間をタイピング練習や朝学習など他の活動に入れ替えている状況があります。

毎日実施できる環境を整えていくことが課題です。

#### ⑦ 学校における読み聞かせ、ブックトークの充実

<読み聞かせ、ブックトークの実施状況>

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
小学校	11/11	8/9	7/9	6/9	8/9	9/9
	100%	88.8%	77.7%	66.6%	88.8%	100%
中学校	7/9	7/9	7/9	7/9	8/9	8/9
	77.7%	77.7%	77.7%	77.7%	88.8%	88.8%
高 校	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3
	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%

小中学校から図書館へのおはなし会やブックトークの依頼も年々増えており、この取り組みに関する学校と図書館の連携も活発に行われています。小学校では、読み聞かせボランティアによる読み聞かせも年間を通して計画的に行われている状況もあり、大人が子どもに良い本を手渡す機会が増えています。今後も積極的に推進していくことが望めます。

#### ⑧ 学校における家読(うちどく)の推進

<家読の推進実施状況>

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
小学校	11/11	9/9	9/9	9/9	9/9	9/9

	100%	100%	100%	100%	100%	100%
中学校	9/9	8/9	9/9	9/9	9/9	9/9
	100%	88.8%	100%	100%	100%	100%
高校	0/3	0/3	0/3	0/3	1/3	1/3
	0%	0%	0%	0%	33.3%	33.3%

家読は、読書をきっかけに、家族のコミュニケーションを豊かにしようという試みであり、山梨県教育委員会の「しなやかな心の育成推進プロジェクト」の取組みの一つでもあります。

北杜市全ての小中学校で家読が推進されており、各家庭で読書に親しむ機会が増えています。一方、高校での実施が少ないことから、機会拡大に向けた取組みを推進していくことが必要です。

#### ⑨ 保育園における図書館職員及び図書館ボランティアによる読み聞かせ、おはなし会の実施

<図書館職員及び図書館ボランティアによる読み聞かせ、おはなし会の実施回数>

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
実施回数	52	27	1	0	6	28

<ボランティア、保護者による読み聞かせの実施回数>

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
実施園数	15/17	12/17	3/18	2/18	2/17	6/17
実施率	88.2%	70.5%	16.6%	11.1%	11.7%	35.3%

令和2年度～令和4年度はコロナにより実施回数が激減しましたが、令和5年度は実施回数が増加しました。コロナが5類に移行し、園の受け入れ態勢も整ったことから、コロナ前の実施回数に近づくことが推測されます。

今後も本に親しむ機会をより多くするため、継続して実施していくことが望まれます。

#### ⑩ 保育園における団体貸出しの実施

<実施状況>

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
実施園数	7/17	7/17	10/18	8/18	8/17	9/17
実施率	41.1%	41.1%	55.5%	44.4%	47%	52.9%

北杜市図書館から保育園への図書の団体貸出しは、17施設中9施設に留まっています。団体貸出しを利用すると1か月100冊まで本を借りることが出来、それを定期的に行うことで、たくさんの本に触れ合うことが出来ます。その利点を案内しながら、現在利用のない施設を中心に、更なるPRや本の置き場所を確保するなどの環境整備を促すことが課題です。

### ⑪ 保育園における異年齢交流による読み聞かせの実施

<実施状況>

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
実施園数	1/17	0/17	0/18	0/18	0/17	0/17
実施率	5.8%	0%	0%	0%	0%	0%

異年齢交流による読み聞かせを実施している保育園はありませんでした。読み聞かせを行える機会や場の確保が課題です。

\*異年齢交流:小、中、高校生による読み聞かせ

### ⑫ 北杜市図書館における児童資料の網羅的な収集

<児童資料の網羅的な収集:年度毎の購入冊数(寄贈除く)と一般図書との購入割合>

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
児童書 購入冊数	1981	1821	1884	1633	1518	1768
一般書 購入冊数	6355	5812	5872	5252	4561	4700
児童図書の 割合	31.1%	31.3%	32%	31%	33.2%	37.6%

北杜市図書館における児童図書の新規購入冊数は、一般図書の購入に対しておよそ3割で推移していましたが、令和5年度は、児童書購入のための特別予算を獲得し、調査探求図書として主に調べ学習に活用できる図書を購入することが出来、

児童図書の購入割合も 37.6%と増加しました。今後も予算の確保を行いながら、質の高い資料を整備していく必要があります。

### ⑬ 北杜市図書館におけるおはなし会、各種イベントの実施

<実施回数と参加人数(8図書館合計)>

年度	H30			R1			R2			R3			R4		
イベント種類	(定例) おはなし会	(定例以外) おはなし会	その他イベント												
実施回数	210	20	18	283	12	22	1	3	2	94	7	12	159	32	13
参加人数 (延べ)	1413	797	959	4385	689	1840	45	27	105	428	124	430	1005	1227	460
年度	R5														
イベント種類	(定例) おはなし会	(定例以外) おはなし会	その他イベント												
実施回数	267	40	25												
参加人数 (延べ)	3442	1632	772												

北杜市図書館における令和2年度～令和4年度のおはなし会、その他イベントの参加人数について見ると、コロナの影響により、中止または人数制限での実施となったためで落ち込んでいますが、令和5年度は実施回数、参加人数ともに大幅に増加しました。おはなしの楽しさや本の楽しさを感じてもらい図書館利用を促進するためにも、今後も継続して推進していく必要があります。

#### ⑭ 北杜市図書館におけるブックスタート事業の展開

##### <実施回数と絵本配布数>

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
実施回数	12	11		13	12	12
絵本配布数	219	175	138	191	194	170

ブックスタートの対象人数＝配布数となっており、配布率は100%となっています。プレゼントする本は、8タイトルの中から希望の本を選ぶことが出来るようになっており、前述した保育園の保護者を対象としたアンケートでは、「選んだ本は満足しましたか」という問いに対して97%の保護者が「満足した」と回答しており、その満足度はとても高いものとなっています。よって、ブックスタート事業の展開は、乳幼児の読書活動の推進に大変有効な事業だと捉え、今後も継続して推進していく必要があります。

#### ⑮ 母親学級(マタニティカフェ)における読書活動の推進

##### <実施回数及び参加人数(父親含む)>

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
実施回数	3	3	3	3	3	3
参加人数	35	45	35	35	23	15

ネウボラ推進課の事業「マタニティカフェ」で妊婦さんを対象に「今日から始める読み聞かせ」と題して、生まれてくる赤ちゃんと絵本を介して楽しい時間を過ごすための案内を図書館と連携して行っています。ブックスタートでプレゼントする本の紹介や、その中の一冊の読み聞かせなども行い、ブックスタートへ繋げています。

保護者向けの読書推進活動として継続していく必要があります。

#### ⑯ 北杜市図書館における学校図書館でのおはなし会、ブックトークの実施

##### <実施回数(8館合計)>

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
実施回数	19	25	3	15	17	25

北杜市図書館が学校に出向いてのおはなし会、ブックトークの実施回数は、コロナの影響により減少したものの、令和5年度には25回と増加しました。小学校が

らは主に読み聞かせ、中学校、高校からは主にブックトークの依頼があります。読み聞かせやブックトークは、読書意欲の喚起やその後の図書館利用に繋げることが出来るため、今後も推進していくことが必要です。

また、学校図書館との連携会議を各町毎、または近隣の町との合同で年2回程度実施し、子どもの読書活動の推進を図っています。学校の様子や子どもの様子、図書館の様子などを共有しスムーズな読書活動の推進をおこなうために有効だと考え、今後も連携を深めていくことが必要です。

## ⑰ 北杜市図書館における障がいのある子どもへの読書活動の支援

点字資料や LL ブック(やさしく読みやすい本)、さわる絵本、大活字本、布絵本、朗読テープなどを所蔵し支援体制を整えていますが、利用は少ない状況です。所蔵していることを広報したり、利用しやすいように棚を作る(りんごの棚)などの工夫をし、重点的に推進していくことが必要です。

\*LL ブック:日本語が得意でない人や知的障がいのある人をはじめとした一般的な情報提供では理解が難しい様々な人にとって読みやすいように作られている本。

\*りんごの棚:特別なニーズのある子どもを対象とした公共図書館サービスの一つ。紙に印刷された資料だけではなく、読書を支援するための道具がある。一つの場所に集めることで、子どもが自分に適した資料に出会える手助けをする。

## ⑱ 北杜市図書館における外国籍の子どもへの読書活動の支援

英語、フランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、ノルウェー語、タイ語、ネパール語などの資料を現在 982 冊所蔵していますが、外国籍の子どもが利用することは少ない状況です。北杜市在住の外国籍の子どもの状況を把握し、そのニーズに合った収集をしていくことが必要です。

## ⑲ ボランティア研修の実施

図書館サービスを充実させていくためには、図書館ボランティアの協力は不可欠です。図書館とボランティアが連携し協働していくためには、資質向上のためのボランティア研修を継続的に実施して、図書館員と共に学んでいくことが必要です。

#### (4) 第三次推進計画における成果と課題

第2章で振り返ってきた第三次推進計画における取組み及び成果と課題は次のとおりです。

##### ○目標に達した指標

- ・ボランティアの稼働率(指標③)

##### ○目標には到達しなかったが、ポイントが上がった指標

- ・ブックスタートで配布した本の読書率(指標①)
- ・週3回以上家庭の中でお子さんに本を読んだり、一緒に本を読む回数の割合(指標④)

##### ○コロナの影響を受けたもの

- ・おはなし会やブックトーク、イベントの実施
- ・北杜市図書館の利用

##### ○課題

・北杜市図書館では、子ども向けのおはなし会やイベント等を行ってきましたが、利用率の向上には至っていません。コロナ以降のデジタルシフト等への環境の変化に伴い、インターネットを利用した新しい取り組みが必要です。

##### ○具体的な考察

- ・子どもが生涯に渡って読書を楽しめるように、子どもを支える保護者や大人が日頃から読書に目を向け、子どもが読書の楽しさを日常的に実体験でき、生活の一部として定着していけるような取り組みが必要です。
- ・子どもが何をきっかけに本を手にとっていくのかを掘り起こしていくことが必要です。
- ・小、中、高校生がタブレット等を利用して、自ら北杜市図書館の本を予約出来る環境作りが必要です。
- ・家庭や地域での読書活動を推進するために、保護者やボランティアを対象とした研修の充実が必要です。
- ・パソコンやスマートフォン、タブレットで小説や雑誌、マンガ等を読む児童・生徒の割合が多くなっている現状を踏まえ、電子書籍の導入を含めた読書活動の選択肢を広げていくことが必要です。

・中高生の読書離れ、図書館離れを改善するために、中高生に向けたイベントの実施が必要です。

## 第3章 第四次計画の基本的な考え方

「第3章 1～4」は、市の三次計画、国、県の内容を参考にしております。  
内容の確認をおねがいします。

### 1 基本的な考え方

子どもの読書活動の推進にあたっては、子どもが、いつでも、どこでも読書に親しむことができる環境を整え、本市の未来を担う子どもたちが、夢の実現に向けて、他者への思いやりを大切にしながら、たくましく、しなやかに生活するために多くの本と出会い、読書の楽しさや知る喜びを体験できるよう、家庭や地域、学校、図書館等がそれぞれの役割を明確にし、その役割を果たすべく連携・協力しながら、市全体で子どもの読書活動の推進に取り組んでいきます。

さらに、子どもの自発的な読書習慣を身に着けるためのきっかけとして、読書相談や様々な機会を通じて読書に対する普及・啓発活動を行うなど、子どもと本に関する専門的な知識を身に付けた人材の育成、地域のボランティアの育成にも取り組んでいきます。

市では、国や県の計画内容を基本とするとともに、本市における子ども読書活動の推進状況を踏まえ、第四次北杜市子ども読書活動推進計画を策定し、基本的な考え方や、家庭や地域、学校、図書館等の役割、計画のめざすものを示すところであります。

### 2 国、県の基本的な考え方

国では、令和5年3月に第5次の基本的な計画を策定し、「不読率の低減」「多様な子どもたちの読書機会の確保」「デジタル社会に対応した読書環境の整備」「子どもの視点に立った読書活動の推進」が基本方針として示されました。

背景として、令和元年6月に公布・施行された、読書バリアフリー法(視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律)や令和2年に策定した読書バリアフリー基本計画(視覚障

害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画)があります。

さらに令和3年9月のデジタル庁の設置をはじめとする教育におけるデジタル化の進展など地域の教育力向上に向けて、ICTなどの新しい技術を活用しつつ多様な主体と連携、協働しながら魅力的な教育活動を展開し、ひとつづくり、地域づくりを行う取組みを促進すること等が挙げられています。

県では、国の基本的な計画を基本とするとともに、山梨県における子どもの読書活動の推進状況を踏まえ、第4次推進実施計画を策定し、○社会全体での取組 ○人材育成 ○環境整備・充実 ○普及・啓発を基本方針としています。

計画の基本理念として「すべての子どもたちに豊かな読書体験を～豊かで幸せな人生(ウェルビーイング)につなげるために～」を掲げ、家庭、地域、図書館学校等の役割や県立図書館と市町村との役割等について示されております。

### 3 社会全体で子ども読書活動を推進するために

子どもの読書活動を推進するためには、市全体で取組む必要があり、教育委員会のみならず、福祉部局等と連携することにより、家庭や地域、学校、図書館等による横断的な取組みが行える体制といたします。

また、計画において、それぞれの役割、方策を具体的に示し、社会情勢の変化や取組みの状況における計画内容や達成度等について、PDCAサイクルを実施し、効果的・効率的な活動としてまいります。

### 4 計画のめざすもの

#### ○子どもの自主的な読書活動の推進

子どもが自ら進んで読書活動に親しみ、読書習慣を身に付けていけるよう、子どもの興味・関心を尊重しながら自主的な読書活動や読書習慣の定着を促すために、読書活動を推進します。

#### ○地域や家庭、学校、図書館等の連携

子どもが読書の楽しさや意義を知り、生涯にわたる読書習慣を身に付けるためには、家庭を中心とした地域全体における取組が必要とされております。

家庭・地域、学校、図書館等がそれぞれ担うべき役割を果たし、それぞれが連携し、相互に協力して子どもの読書活動のための取組みを推進します。

#### ○子どもが読書に親しむ環境の整備・充実

子どもがあらゆる機会と場所において、自ら読書活動に親しむことができる環境を整えることが大切です。子どもたちが進んで読書体験を深めることができるような環境づくりに努めます。

#### ○子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

子どもが自ら積極的に読書に親しむためには、子どもを取り巻く大人たちが、子どもの読書活動に対する関心を持つことが大切です。さまざまな機会を通じて、読書活動に対して理解が

得られるよう、読書活動が果たす役割や意義、重要性について広く普及・啓発を図るよう努めます。

## 5 計画の期間

第四次北杜市子ども読書活動推進計画の期間は令和7年度から令和11年までの5年間とし、更なる子ども読書活動の推進を図ります。

## 第4章 子どもの読書活動推進のための具体的な方策

第4章は、これまでの取り組み、市の三次計画、国、県の内容を参考にしております。内容の確認をおねがいします。

### 1 家庭における子どもの読書活動の推進

子どもが本に触れ、本を読む楽しさを知り、より良い読書習慣を身に付けるためには、生活の基盤となる家庭の果たす役割が大変重要になります。

幼いころから家族や身近な人と本を介してふれあうことで、豊かな感性や思いやりの心を育み、想像力を養い、家族の愛情を確かめることができます。また、身近な大人が意欲的に読書活動に取り組み、家庭における読書環境を整えることによって、子どもの読書への関心を高めることができます。

#### ○市立図書館の利用

・本の貸出やイベントへの参加をとおして、図書館を利用する。

#### ○ブックスタートの活用

・ブックスタートの絵本を活用して、子どもへの語りかけや読み聞かせを実践する。

#### ○家読の実施

・家庭において、週1回または2週間に1回程度の「家読の日」を設定し、家族で読書に関する時間を共有する。

#### ○家庭での読み聞かせ

・保護者(大人)による子どもへの読み聞かせ

・子どもによる兄弟への読み聞かせ

#### ○読書に関する情報の収集

### 2 地域における子どもの読書活動の推進

地域には、公民館、児童館、放課後児童クラブ、放課後子ども教室、つどいの広場、子育て支援センターなど、学校以外にも子どもが学び、健やかに成長するための活動の場が多くあります。これらの場所での活動と読書活動をリンクさせ、ボランティアや保護者等の協力を得ながら、地域全体で子どもの読書活動を推進していきます。

- 児童館・放課後児童クラブ・放課後子ども教室・つどいの広場・子育て支援センター等における読書推進
  - ・おはなし会の実施
  - ・団体貸出の利用
  - ・近隣の北杜市図書館との連携によるイベントの開催

### 3 学校における子どもの読書活動の推進

学校図書館は、児童・生徒の読書習慣を形成するうえで、非常に大きな役割を担っており、読書を通じて豊かな人間性を育む活動の拠点である「読書センター」としての機能と、児童・生徒の自発的、主体的な学習活動を支援する「学習情報センター」としての機能を果たしています。各学校は、学校図書館がこの機能を十分果たせるような環境整備を進める必要があります。

- 学校図書館利用のためのオリエンテーションの実施(児童、生徒、教職員対象)
- 朝読書の推進(読書の時間の確保)
- 読み聞かせ、ブックトーク等の充実
- 調べ学習の支援
- 子どもの意見を取り入れた学校図書館の運営
  - ・図書委員会活動の活発化
  - ・図書委員の児童・生徒等による「知的書評合戦(ビブリオバトル)」
  - 「読書会」「おすすめ本の展示」などの主体的な取組み
- 多種多様な図書に触れるための展示・掲示の工夫
- 家読の推進
- 多様な子どもたちが、読書の機会を得るための工夫
- 学校図書館ボランティア・保護者等による読書活動への協力
- 学校図書館の蔵書の充実
- デジタル社会に対応した読書環境の整備
- 北杜市図書館との連携
  - ・学校図書館と北杜市図書館による連携会議の開催
  - ・北杜市図書館からの団体貸し出しの利用
  - ・読書マラソンの実施

発達段階に応じた読書活動を行い、読書習慣を形成するために、学校図書館と北杜市図書館の連携によるおすすめ本リストを作成し、市内の乳幼児から小・中学生を対象に配布。

#### 4 保育園における読書活動の推進

保育園においては、保育士が日常的に読み聞かせ等を行い、園児が読書に親しむ取り組みが積極的に行われています。また、子育て支援センターが併設されている認定こども園では、子どもが保護者と一緒に読み聞かせを楽しむことができる環境づくりが必要となります。

##### ○おはなし会の実施

・図書館ボランティア、保護者による読み聞かせ

##### ○北杜市図書館との連携

・北杜市図書館の職員によるおはなし会

・子どもの発達段階に応じたブックリストの配布と活用

##### ○北杜市図書館からの団体貸出の利用

#### 5 行政による子どもの読書活動の推進

第4章5は、各行政機関の取組み、具体的な方策となりますので、それぞれ内容の確認、記載、修正をお願いします。

北杜市の将来を担う子どもたちが、より良い読書習慣を身に付け、豊かな心を育むためには、市全体で子どもの読書活動を推進していく必要があります。子どもの育成に関わる行政機関は、北杜市図書館と連携を図りながら、読書活動を推進していきます。

##### 【関連行政機関】

##### ○ネウボラ推進課

・北杜市図書館との連携による、ブックスタート事業及びマタニティカフェ事業の開催

##### ○子育て政策課、こども保育課

##### ○生涯学習課

## ○教育総務課

### 6 北杜市図書館における子どもの読書活動の推進

北杜市図書館は、子どもの読書活動を推進するうえで、中核的役割を果たす施設です。

子どもが豊富な図書の中から自分の興味に沿った本を自由に選択し、読書の楽しみや知識を得る喜びを知ることができる場所です。また、保護者にとっては、子どもの本を選び、子どもの読書について相談できる場所でもあります。

北杜市図書館では、おはなし会やおすすめ本の展示等を実施し、また地域住民団体やボランティアグループ、学校図書館等の子どもの読書活動の推進に携わる機関と連携を図り、さまざまな事業を展開しながら、子どもたちが生涯を楽しく健やかに暮らせるための知的好奇心に応えられるよう、よりよい子どもの読書環境整備に努めていきます。

#### ○図書館資料の充実及び計画的な資料整備

- ・地域資料、調査探求資料、ヤングアダルト資料の充実

#### ○デジタル社会に対応した読書環境の整備

#### ○子どもの主体的読書活動を取り入れるための工夫

- ・イベント等の実施において、中・高生に対して企画段階から参加を募る。
- ・職場体験等の時に、子どもの意見を取り入れた体験を実施する。

#### ○おはなし会、各種イベントの実施

#### ○ブックスタート事業の展開

- ・ブックスタート(12か月健診時)や各健診時に、絵本の読み聞かせや絵本のプレゼント、おはなし会の案内、おすすめ本リストの配布、読書相談を行う。

#### ○マタニティカフェ・本の杜事業における読書活動の推進

- ・ネウボラ推進課と連携し、親子で読書に親しむ機会を持つことの大切さを伝え、乳児期からの読書活動を促す。
- ・子どもへの読み聞かせ(語りかけ)の大切さ、ブックスタート事業の趣旨を説明する。

#### ○読書マラソン

- ・学校図書館と北杜市図書館が連携して、乳幼児期からの発達段階に応じたおすすめ本リストを作成し、市内保育園、小中学校、乳幼児健診対象者へ配布する。

#### ○学校・学校図書館との連携

- ・読み聞かせ、ブックトーク等の実施

- ・調べ学習等における資料の相談、提供
- ・職場体験、施設見学等の受け入れ
- ・学校図書館と北杜市図書館による連携会議の開催
- 障がいのある子どもへの読書活動の支援
  - ・障がいの種類や特性に応じた図書資料の収集や提供、おはなし会等の実施
  - ・障がいをテーマにした本、障がいを理解するための資料の整備
- 日本語能力に応じた支援を必要とする子どもへの読書活動の推進
  - ・外国語資料の収集と提供
  - ・多様な言語や価値観を持つ外国文化を理解するための読書環境づくりに努める。
  - ・分かりやすい図書館の利用案内、館内表示の整備
- 子どもの読書に関する相談、レファレンスの充実
- 情報提供
  - ・図書館情報誌「やまね便り」の発行
  - ・おすすめ本リストの発行
  - ・SNSでの情報発信
  - ・図書館ホームページ、広報での情報発信
- ボランティアの研修、活動の場の提供
- 子どもの読書活動に関する職員研修の実施
- 地域団体との連携
- 地域住民への周知
- 関係機関との連携

## 7 子ども読書活動推進の啓発・普及

第4章7は、これまでの取り組み、市の三次計画の内容に加え、県の内容も参考にしております。内容の確認をおねがいします。

子どもの読書活動を推進していくためには、家庭、地域、学校等が中心となって社会全体で取り組む必要があり、読書活動関係者の連携、協力のもと、子どもの発達段階に応じた取り組みや、読書への関心を高める取り組みが必要です。このためには、子どもをはじめ、子どもを取り巻く大人への啓発にも積極的に取り組み、子どもの読書活動の推進に対する意識向上、理解を高めていくことが重要です。

- 各種読書イベント等の情報収集と提供
- 「子ども読書の日」「こどもの読書週間」「読書週間」等における普及・啓発

- インターネット、SNS を活用した普及・啓発
- 子どもの読書活動の意義や重要性を伝える取組み

## 8 子ども読書活動推進体制の確立

子どもの読書活動を効果的に推進していくためには、家庭、地域、学校、北杜市図書館、その他の関係機関及び民間団体等が、それぞれの役割を十分に果たしつつ、情報を共有し、連携・協力しながら、社会全体で取り組んでいく必要があります。この計画を推進するため、毎年調査を実施し、進捗状況の把握に努めます。

- 山梨県立図書館、山梨県内公共図書館、国立国会図書館等との連携・協力強化
  - ・山梨県子ども読書支援センターの活用
  - ・図書館と諸機関との連携、協力
  - ・資料の相互貸借
  - ・山梨県内公共図書館発行の「こどもにすすめたい本」の選定・活用
- 関係機関・団体やボランティアとの協働
  - ・市立図書館との協働によるイベントの開催
  - ・ボランティア研修の実施や情報提供及びボランティアバンクの充実

## 第5章 計画の推進に向けて

第5章は、これまでの取り組み、市の三次計画の状況により、今後の目標値を設定しております。内容の確認をお願いします。

### 1 数値目標

第四次計画の推進にあたり、子どもの読書活動が効果的に遂行されているかを客観的に測るため、数値目標を設定します。

指標名	実施機関	令和6年度 (実績値)	令和11年度 (目標値)	推進機関
ブックスタートで配布した本の読書率	図書館	98.2%	100%	図書館
読み聞かせボランティアの活用率	図書館	登録数(延) 112人	登録数(延) 120人	図書館

	図書館	活用率 85%	活用率 85%	
週3回以上家庭の中でお子さんに本を読んだり、一緒に本を読む回数の割合	保育園	53.9%	55%	保育園 こども保育課
本を読むことが好きな児童・生徒の割合	小学校	75.2%	90%	小中高校 教育総務課
	中学校	58%	80%	
	高校	52.4%	70%	高校 図書館
市立図書館を全く利用しない児童・生徒の割合	小学校	23%	10%	小中学校 教育総務課 図書館
	中学校	30.5%	20%	
	高校	62.5%	30%	高校 図書館

※R6年度の数値は次の資料による

・「令和5年度子ども読書活動アンケート調査」(令和6年2月実施)

#### 参考資料

- ・施策体系
- ・経過報告
- ・子ども読書活動の推進に関する法律
- ・北杜市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱
- ・委員名簿
- ・活動施設一覧
- ・アンケート結果